

RYOBI

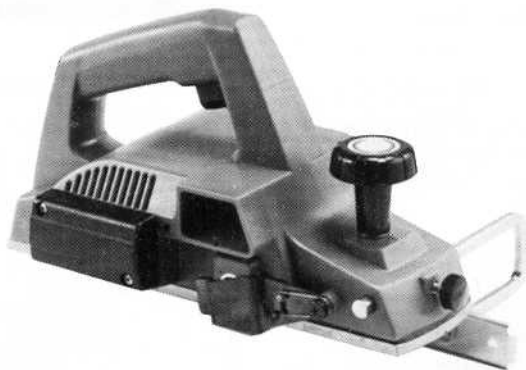
マイフレナー

ML-84

取扱説明書

ご使用前に本取扱説明書をよくご覧の上ご使用くださるようお願いいたします。

6980412(D)



■特長

- 2.3kgの軽量設計で、どなたにも楽に片手で使えます。
- 簡単に刃先調節の出来るクイックチェンジ方式。
- 定盤が長いので安定した作業が出来ます。
- 高級・大型のサイドプレートが通常付属品についています。
- 巾84mm・深さ11.5mmまでのワイドな相ジャックリ加工が出来ます。
- 安全な二重絶縁構造で安心してご使用いただけます。

■仕様

電圧	100V
電流	4.7A
消費電力	450W
回転数	15000 R.P.M.
カンナ刃巾	84mm
重量	2.3kg
切込深さ	0～1mm
□二重絶縁	

■通常付属品

カッター手砥保持器
カッター調節ゲージ
ボックススパナ
サイドプレート
⊕ドライバ

■ご使用に当りましての注意事項

本機を使用する前には必ず取扱説明書を十分読み、指定された以外の用途には、お使いにならないで下さい。

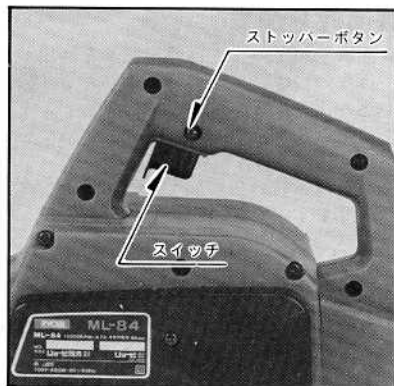
- 被削材に釘などの異物が無いことを確認して下さい。異物があればカンナ刃を破損し、仕上げは、きたなくなります。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にカンナ刃は使用説明に従い、正しく取り付けられ、締付ボルトはしっかりと締付けられているか確認して下さい。
- カンナ刃の取付け取外しなどカンナ刃の取扱い時には手を切る恐れがありますので刃先に十分注意して下さい。
- 切屑排出口には絶対指などを入れないよう注意して下さい。カンナ刃が高速回転していますので危険です。
- 電圧は銘板の表示と一致しているか必ず確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターを焼損するのみでなく、高速回転となり危険です。逆に低い電圧で使用しますと力不足となります。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶつけたりした場合は異状の有無を確認した後、ご使用下さい。
- 運転中はカンナ刃、及び可動部には絶対に手を触れないで下さい。大変危険です。
- 能力を超えた作業は事故のもとです。カンナ刃は常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めて下さい。
- 湿った場所、ぬれた場所での使用は避けて下さい。感電事故のもとになり、モーター絶縁を低下させます。
- 安全な作業をする為には作業場はいつもきれいに整理をし、十分な照明が必要です。ちらかした作業場は事故のもとです。
- 作業場所には作業関係者以外は近づけないで下さい。特にお子様は危険です。
- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。
- 調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は、使用後はすぐに外すようにして下さい。スイッチを入れる前には調整用スパナ、レンチ、ドライバー類が外してあるかをよく確認して下さい。
- さし込みプラグを電源にさし込む前にスイッチが切れていることを確認し、使用后、及び停電の際には、さし込みプラグを抜くように心掛けて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は必ずスイッチが切れていることを確認し、さし込みプラグを電源より外して下さい。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異状に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- 安全で能率よく作業をしていただく為には作業前の機械の点検と定期点検が必要です。点検はお買い求めの販売店、全国各地のリョービ電動工具販売店、リョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

●用途

- 木材の平削り、相ジャクリ

■スイッチ

- スイッチ操作はスイッチを引くと入り、離すと切れます。また、スイッチを引いた状態で握り部の側面にあるストッパーボタンを押すとスイッチより指を離してもスイッチは入ったままになります。この場合再度スイッチを引くとストッパーボタンが外れスイッチは切れます。連続ご使用の場合はこのストッパーボタンをご利用下さい。



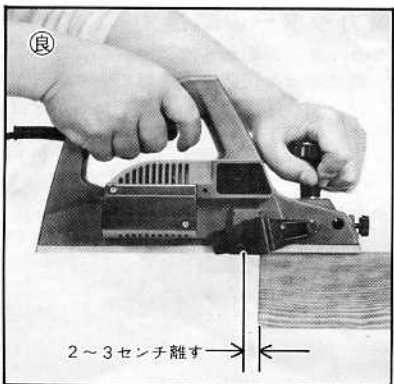
■切込み深さ調節(削り深さ)

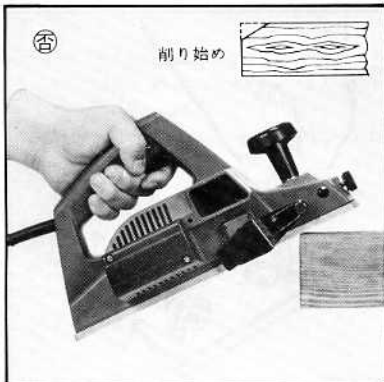
- 切込み深さは、切込み深さ調節つまみを回して行ないます。
 - 最初に深く(荒削り)削り、後に浅く(仕上げ削り)削ると能率的で美しい加工面が得られます。
 - ・荒削り……切込み深さ 0.7～1 ミリ
 - ・仕上げ削り… “ 0.2～0.4ミリ
- 《注》切込み深さ調節つまみは1回転以上回さないで下さい。



■平面削り

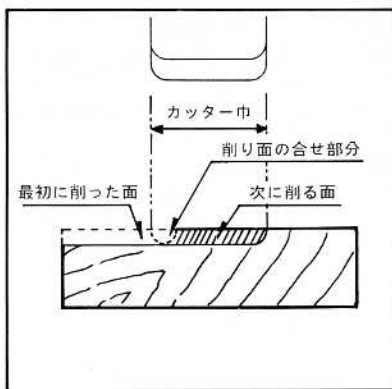
- 1回の加工巾は84ミリです。巾の広い木材加工も容易にできます。(巾広加工の項参照)
- カンナの cutter 刃先を加工材より2～3センチ離れた位置に、前定盤を当てスイッチを入れます。
- 一定の回転になりましたら前定盤を加工材に水平に密着させて前に押し進めて削ります。
(コツ)削り始めと削り終りの注意
- 削り始めと削り終りの時にカンナが傾むくと木材の端を削りますから注意して下さい。





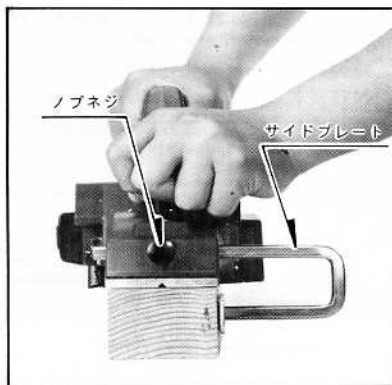
■中広木材加工

- 1回の削巾は最大84ミリですがこれ以上の中広木材を削る場合はカンナ刃の両端角を丸くします。これによって最初に削った面と次に削った面との合せ部分に段がつかず滑らかに仕上がります。相ジャクリ加工をされる場合は前側より向って左端角を残されるか、別に刃をお買求め下さい。



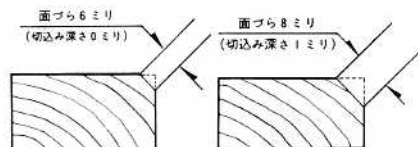
■サイドプレート使用方法

- 70～84mm巾の長尺物を加工する時、サイドプレートをご使用になりますと、削り残しがなく、スムーズに、しかもきれいに加工することが出来ます。
- サイドプレートの取付けは、前定盤上側の丸穴に差し込みノブネジで締付けます。
- 削り作業は、サイドプレートを加工材の側面に押し当てて前に進めます。

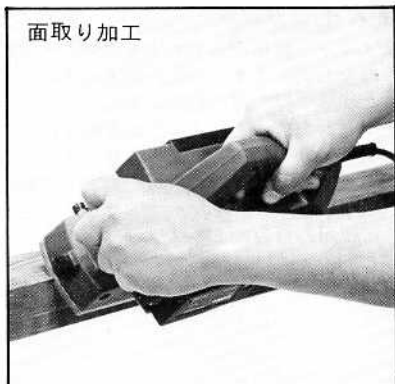


■面取り加工

- 面取り加工は、前定盤三角溝を利用して行ないます。面づら(面取り巾)寸法は切込み深さ調節ツマミを回して行ないます。目盛板0位置で、6ミリ。目盛板1位置で8ミリです。
- 加工は木材の角に前定盤三角溝を合せて削ります。

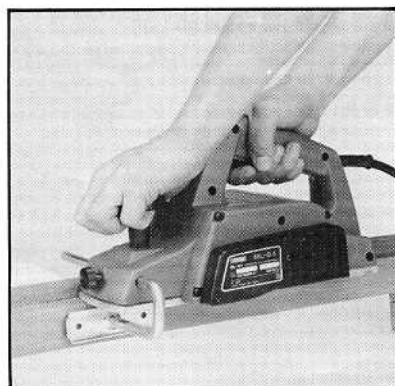
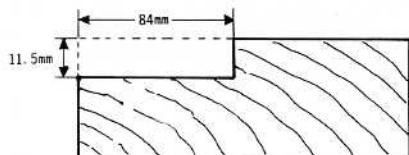


面取り加工



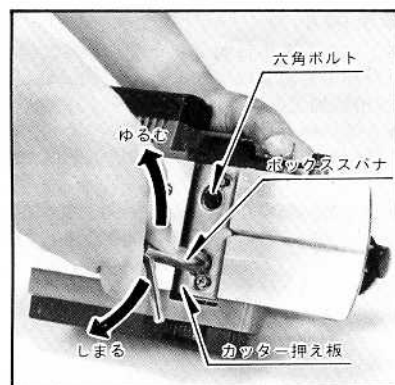
■相ジャックリ加工

- サイドプレートを利用する事により、お好み巾の相ジャックリ加工が出来ます。
- 相ジャックリ加工は最大巾84mm、最大深さは11.5mmまで可能です。

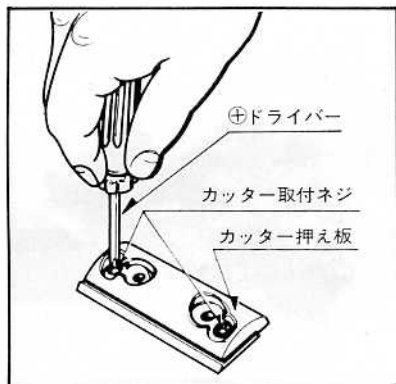


■カッターの取換え

- カッターの切れ味は、木材の質及びご使用になった切込み深さ等により異なりますが、切れ味が悪くなりましたら砥ぎ直してご使用下さい。
- カッターを取り替えの時は、必ず電源を切ってから行って下さい。
- 付属のボックススパナで六角ボルトをゆるめカッターブロックから押え板と共にカッターを取り出します。

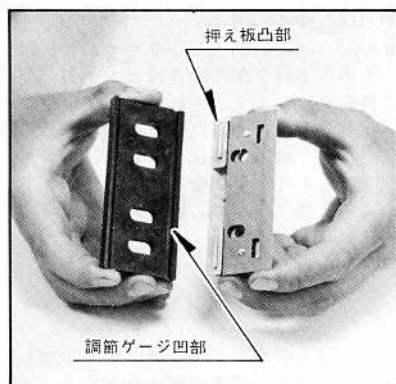


- 付属のプラスドライバーでカッター取り付けネジをゆるめ、カッター押え板から外します。

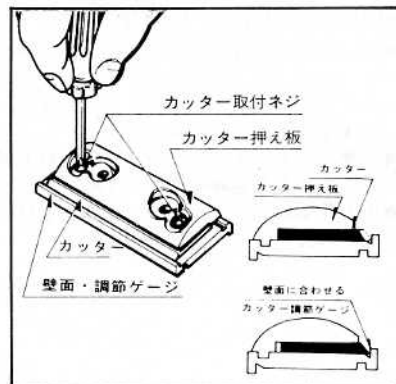


■カッター刃先調節

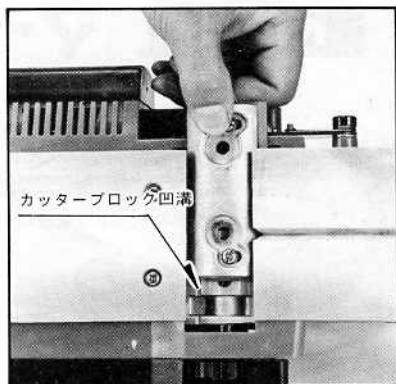
- 美しい切削面を得るには正しいカッター刃先調節が必要です。
(カッター刃先の調節は製品出荷時に正しく調節セットされています)
- カッターをカッター押え板に取り付けた状態で調節ゲージに入れます。この場合押え板の凸部を調節ゲージの凹部に入れます。



- 付属のプラスドライバーでカッター取り付けネジをゆるめます。次に調節ゲージの壁面にカッター刃先を整えてカッター取り付けネジを締付けてカッターを固定します。これでカッター刃先調節は完了です。

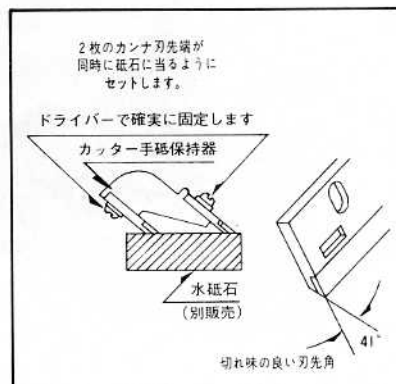


- 刃先調節の出来上がったカッターとカッター押え板は、カッターブロックにボックススパナで確実に固定します。この場合カッター押え板凸部をカッターブロックの凹溝に入れます。

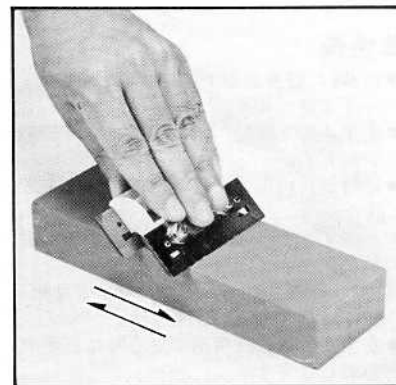


■ 手砥装置

- 長くご愛用いただき、切れ味が悪くなったカッターは、付属のカッター手砥保持器に取付け水砥石(別販売)で研磨し、ご使用下さい。

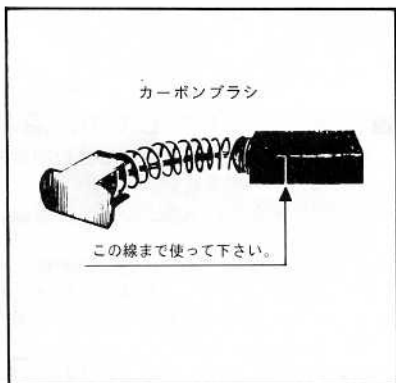


- 手砥ぎ装置で砥ぎますと、2枚のカッターが一度で砥ぎ上り、正しい刃先角に仕上がって、良い切れ味が得られます。



■保守と点検

- 作業が終了したら、カッター切込深さを0にして、各部の切削粉をよく除き、湿気の無い所に保管して下さい。
- モーター部には、水、油等が付かぬように注意して下さい。
- カーボンブラシが全長の $\frac{1}{3}$ 以下即ち、カーボンブラシの横の線まで短くなりましたら、新しいカーボンブラシと交換して下さい。あまり短いカーボンブラシをそのまま使っていると、モーターのアマチュアを焼くことがあります。



この製品は、一貫した品質管理のもとに組立てられ、厳密な検査に合格した製品です。万一の故障の場合、その他取扱上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げ店、最寄りのリョービ電動工具販売店、もしくはリョービ販売(株)営業所にお問い合わせ下さい。

改良のため製品仕様が変わる事があります。

発売元

**リョービ販売** 株式会社
RYOBI

**リョービ** 株式会社
RYOBI